

第 121 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

令和元年 5 月 28 日（火）～29 日（水）

ノバホール（2019 年度春季（第 98 回）低温工学・超電導学会）

2. 来訪者 60 名程度

3. 説明概要

2019 年度春季（第 98 回）低温工学・超電導学会において、ITER 計画に関するポスター、ITER 模型の展示、パンフレット等の配布を行い、ITER 計画の概要、最新の建設状況、ITER 国内機関として ITER 製作機器の製作状況及び調達活動、ITER 機構職員数の現状、ITER 機構職員公募に関して説明を行った。また、建設中の ITER サイトの様子を見ることが出来る VR の体験コーナーを設けた。

（ITER 連携推進グループ 近藤、三上、寺門、會澤）

4. 主な Q&A

Q: ITER では発電しますか？

A: ITER は実験炉ですので発電は行いません。実験炉で核融合に必要な基礎技術の確認を行い、次のステップ（発電炉）に向かうための知見を得ることを目標としています。

Q: JT-60SA と ITER の違いは何ですか？

A: JT-60SA は、2020 年運転開始に向けて那珂核融合研究所に現在建設中です。JT-60SA の目的は、ITER 技術目標達成のための支援研究、原型炉に向けた ITER 補完研究、人材育成の 3 つです。ITER と同じ形で高い性能を持つプラズマ運転を行い、その成果の反映や、ITER 計画をはじめとする核融合研究を主導する研究者・技術者の育成を行います。

それに対して ITER は、2025 年運転開始に向けて南フランスに現在建設中です。核融合運転開始まで、機器の組立・据え付けを三段階で進め、装置の完成度とプラズマ性能を高めて行き、最終的に核融合運転を行う計画です。

Q: インターンシップはどういう人が参加できますか？

A: ITER 機構のインターンシップでは博士課程、修士課程、大学学部生、高校生の学生の皆様を対象に募集しています。それぞれカテゴリー別に分けられ、実施期間、手当などが異なります。実施期間については個別に対応も可能です。

Q: インターンシップはどういう分野が募集されていますか？

A: 技術系分野、事務系分野ともに募集がございます。技術系は原子力工学、物理学、電気工学、情報工学などを募集しており、事務系は広報、人事、財務・調達などを募集しています。募集テーマの詳細は ITER 機構ホームページをご確認ください。

なお、ご自身に合った募集テーマがない場合は、研究内容・希望をお伺いし、当機構が ITER 機構とインターンシップの内容を調整いたしますので、お気軽にご相談ください。

5. 展示会の様子

